

西京極西児童館	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○来館者にとって居心地の良い場所を提供できるように努めます。 ○職員の個性を生かした取組計画を立案します。 ○地域や関係機関との連携を密にし、信頼関係を築きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の場として居心地のよい場所作りと異年齢とクラス別をいかした活動を心がけます。 ○学童クラブ修了後の生活を見据えた活動を行えるよう支援します。 ○保護者との信頼関係を大切に、日々の声かけを意識し寄り添えるように努めていきます。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナが5類となり、自由来館児童に向けた取組を充実させる中で、定期的に利用する児童も増えてきました。 ○中高生世代の利用が増え、児童館を居場所の一つとして利用する中で小学生と交流する姿も多くみられました。 ○登録制のクラブ活動で子どもが主体的にやりたいことを企画・実行し、積極的に取り組む様子が見られました。 ○児童館から地域のイベントに積極的に参加し、また、地域の方に児童館へ足を運んでいただく機会を作ることで、子どもたちを知っていただく機会を作ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス分けの意識を高めることでクラスごとでの子どもと担当との関わりが密となりました。その中で、一人ひとりの意見を聞く機会につながり、子どもの意見を取り入れた活動につなげることができました。 ○保護者の方とはお迎え時やうえぶさくらのメッセージを活用して、日々の子どもの様子を丁寧に伝えることを意識しました。また、学童クラブの子どもの様子を知っていただく機会、また、親子での触れ合う機会として親子参加の取組も開催しました。